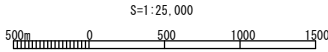
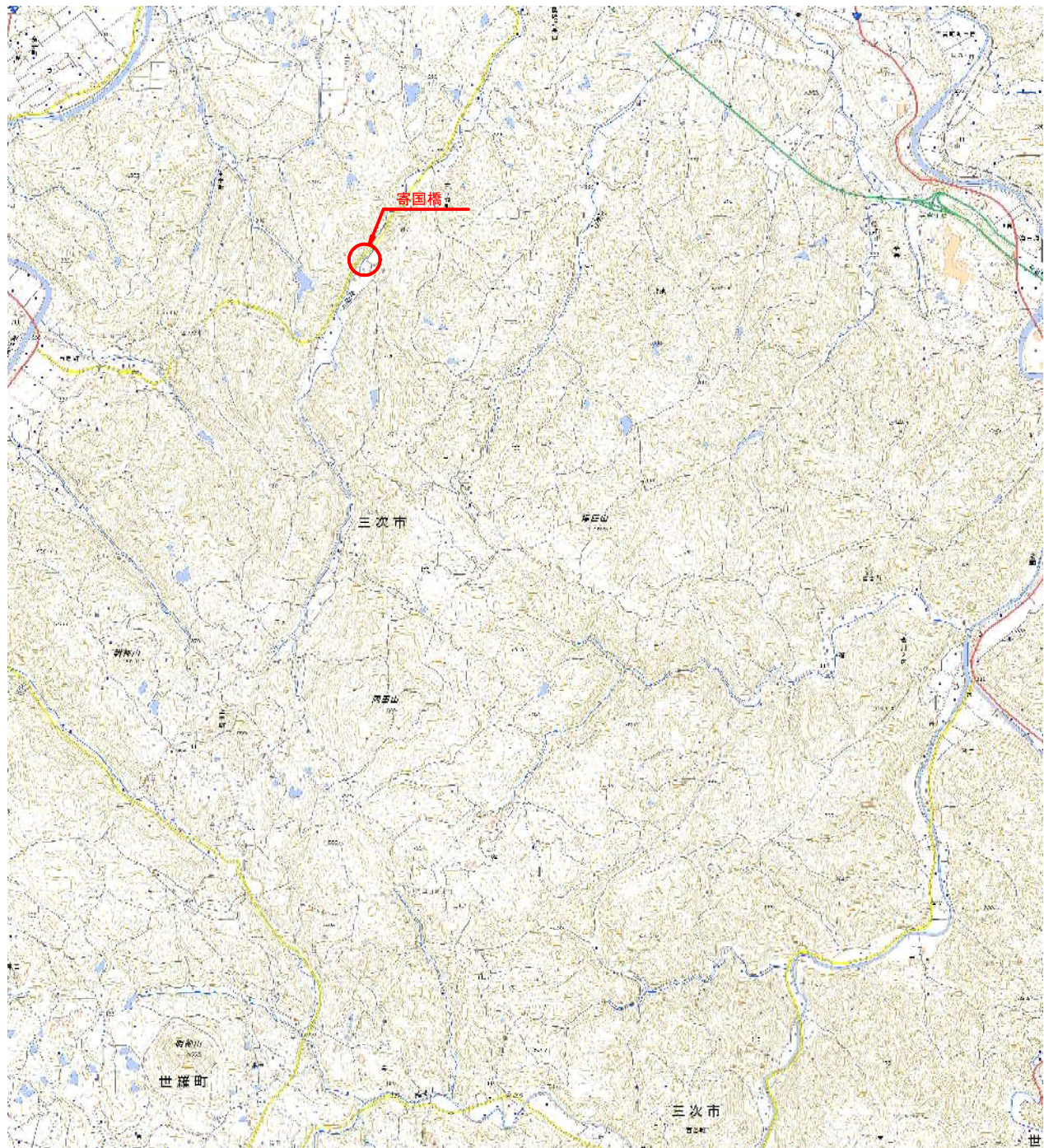
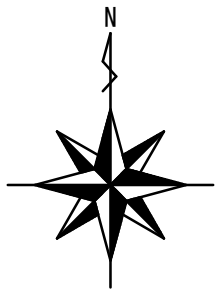


位置図

S=1:25000



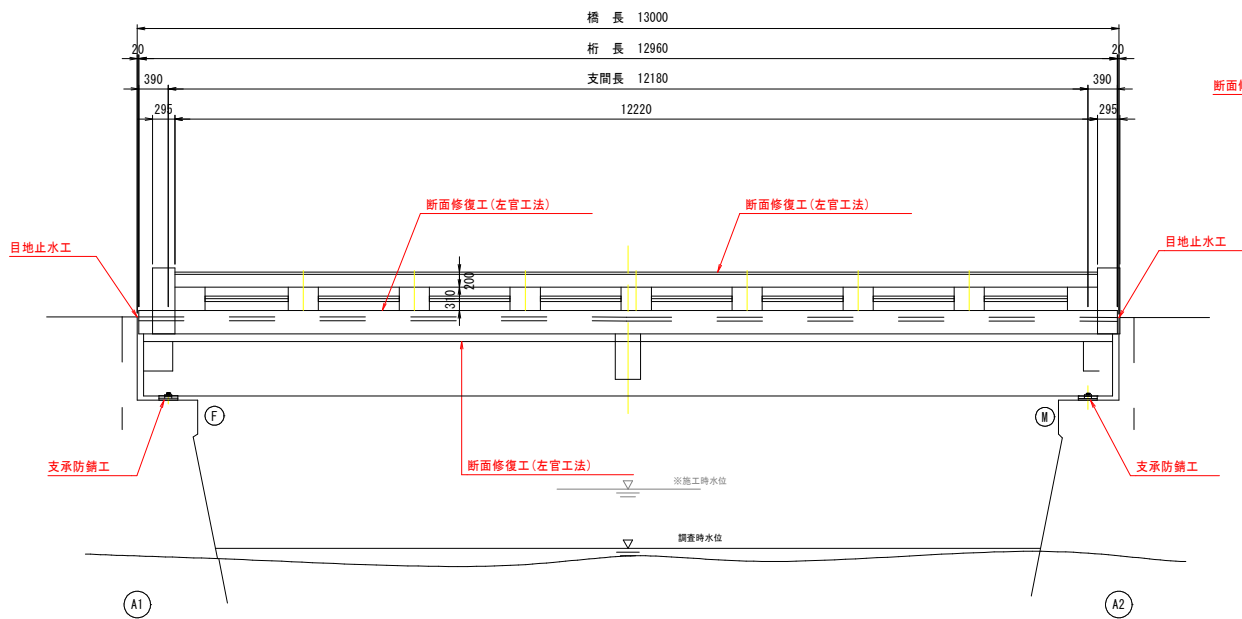
国土地理院発行 地形図「吉舎」

【寄国橋】			
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	位置図		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:25000	図面番号	1 / 7
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三つ市 建設部 土木課		

寄国橋 補修一般図

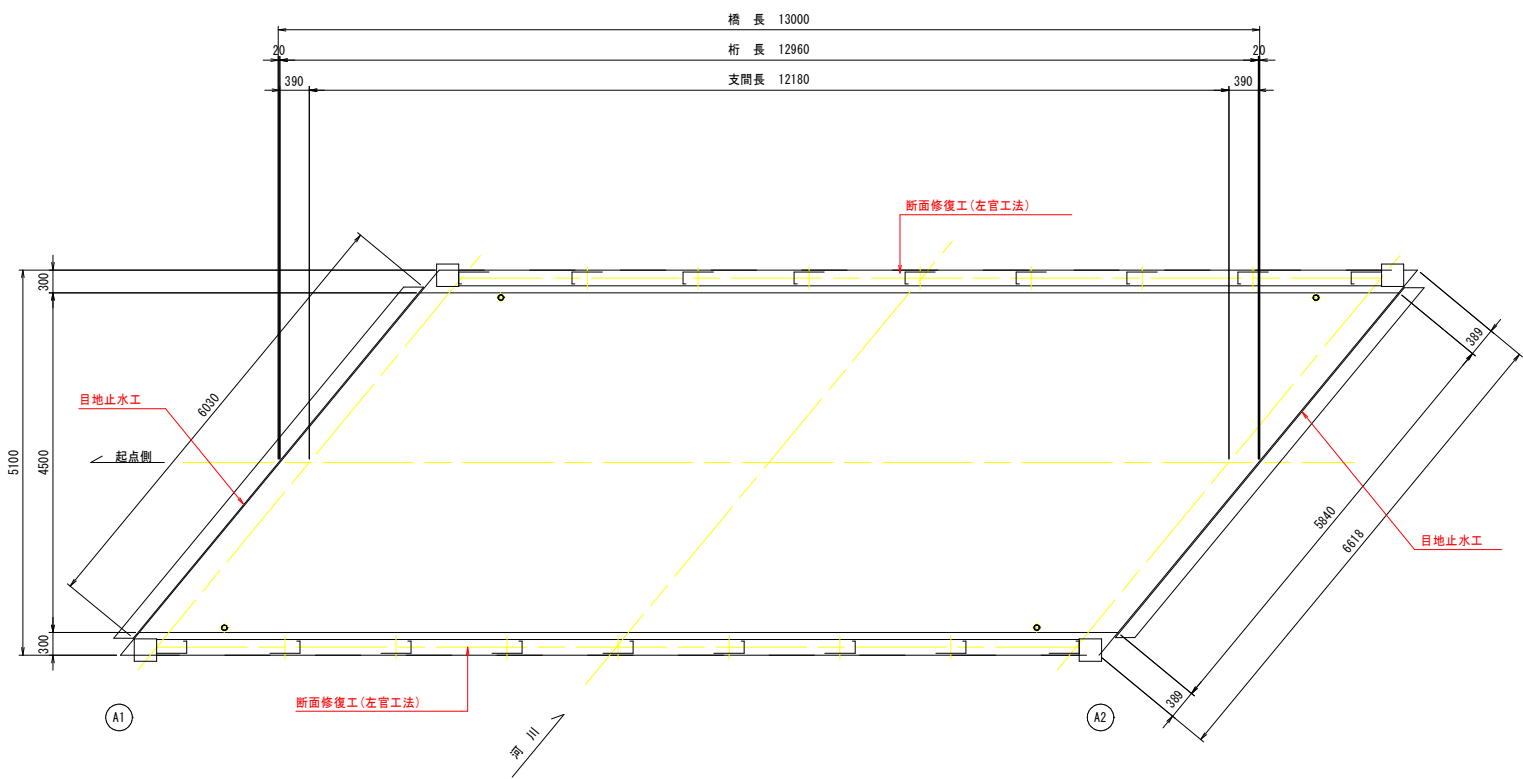
S=1:50

側面図

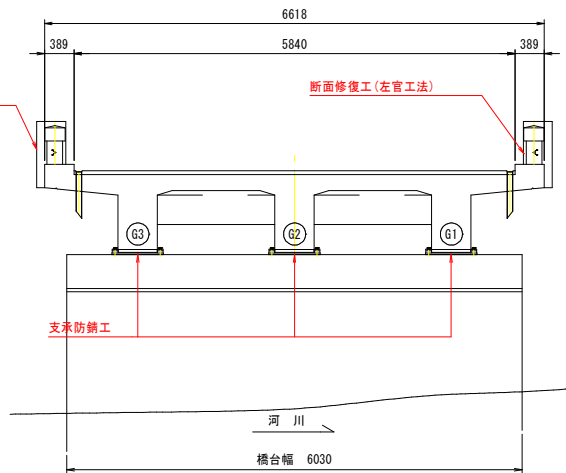


※施工時水位：非出水期(11月～4月)の観測データを用いて算定した水位である。

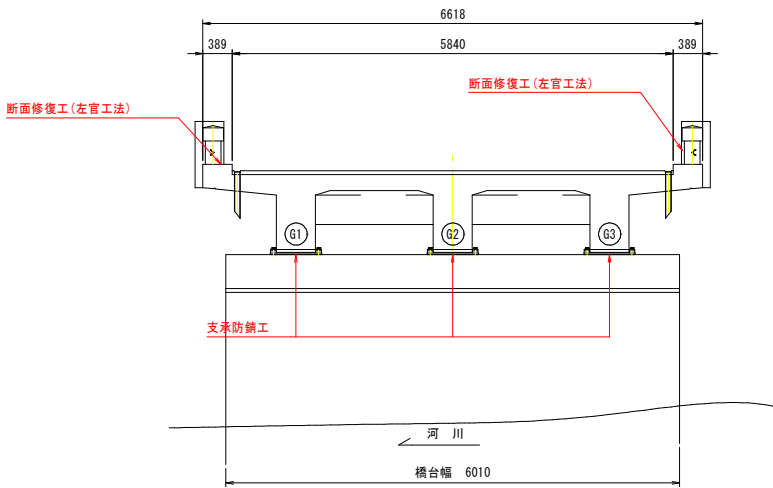
平面図



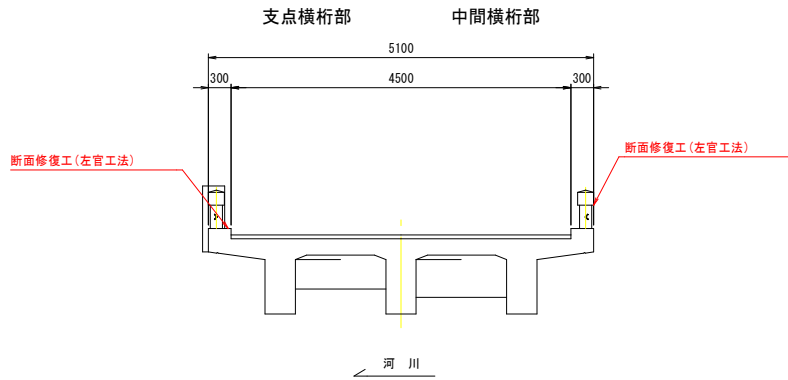
A1橋台



A2橋台



断面図



補修項目一覧表

部 位		工 種	損傷判定区分
上部工	床版	断面修復工(左官工法)	B
	主桁	断面修復工(左官工法)	C1
路上	高欄	断面修復工(左官工法)	C1
	伸縮装置	目地止水工	C1
	地覆	断面修復工(左官工法)	B
支承部	A1, A2橋台	支承防錆工	C2

注記)

- 1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。

【寄国橋】

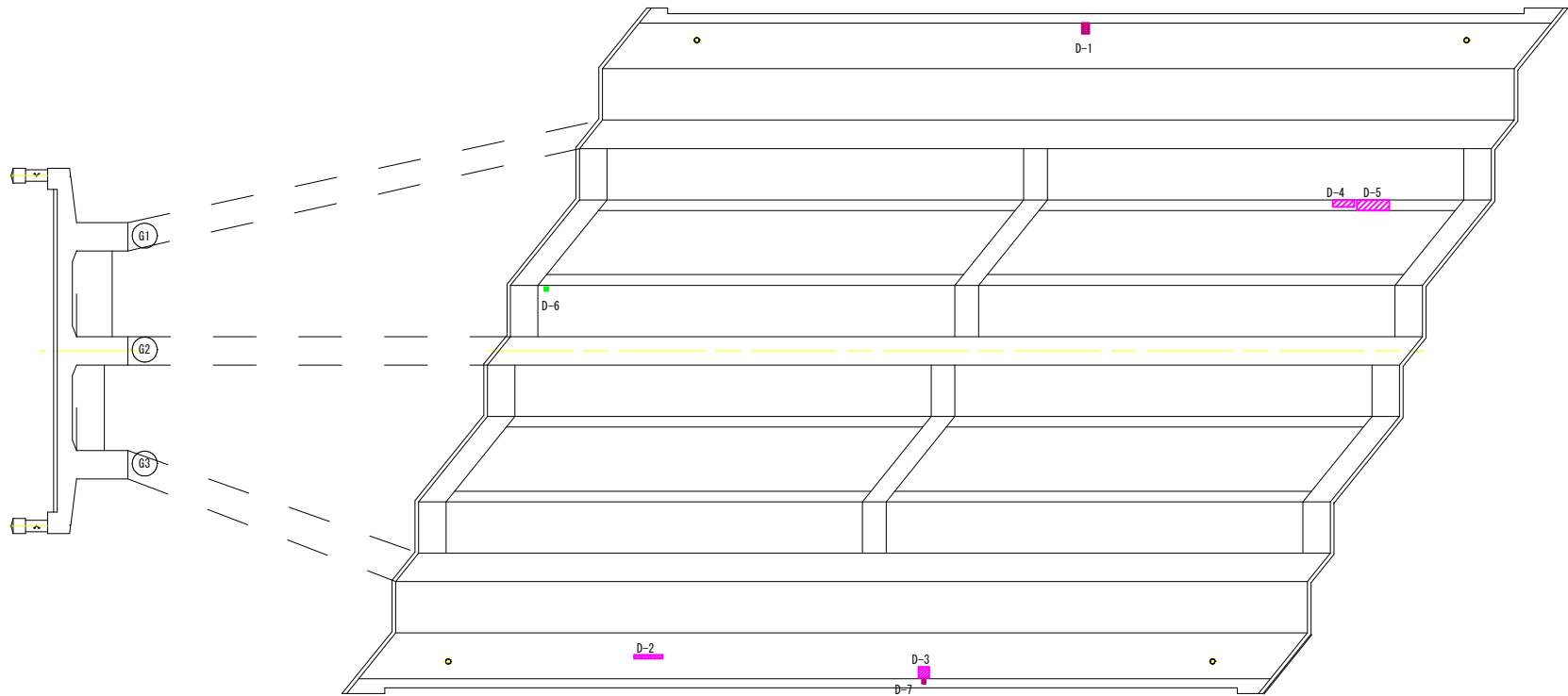
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修一般図		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	2 / 7
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

寄国橋 補修図(その1)

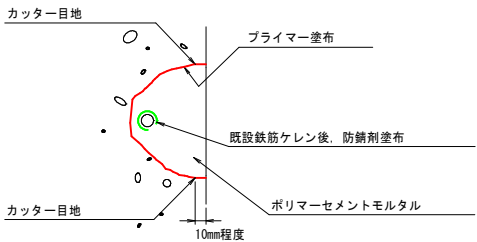
S=1:50

1径間（桁下面）

断面修復工（左官工法）



断面修復工詳細図（左官工法）



【断面修復工】
※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定すること。
※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。
※数量算出条件
・はつり深さ 50mm

断面修復工数量表（左官工法）

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m2	断面修復材 体積 m3
		短辺 m	長辺 m	深さ mm		
上部工（床版、主桁、地覆）						
D-1	鉄筋露出	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-2	うき	0.05	0.40	50	0.0200	0.00100
D-3	うき	0.15	0.15	50	0.0230	0.00115
D-4	うき	0.15	0.45	50	0.0680	0.00340
D-5	うき	0.10	0.30	50	0.0300	0.00150
D-6	その他	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-7	鉄筋露出	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
合計					0.1620	0.00810

凡 例

（損傷の形状寸法の単位はmmとする。）

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	長さ (mm) ひびわれ（開口幅0.2mm未満）
	幅 - 長さ (mm) ひびわれ（開口幅0.2mm以上0.5mm未満）
	幅 - 長さ (mm) ひびわれ（開口幅0.5mm以上1.0mm未満）
	幅 - 長さ (mm) ひびわれ（開口幅1.0mm以上）
	縦 × 横 (mm) 剥離
	縦 × 横 (mm) 鉄筋露出
	遊離石灰
	縦 × 横 (mm) うき
	その他
	縦 × 横 (mm) 豆板・空洞
	幅 - 長さ (mm) 路面のクラック
	漏水・滞水
	縦 × 横 (mm) 変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

【寄国橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その1)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	3 / 7
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

寄国橋 補修図(その2)

S=1:50

1径間（橋面）

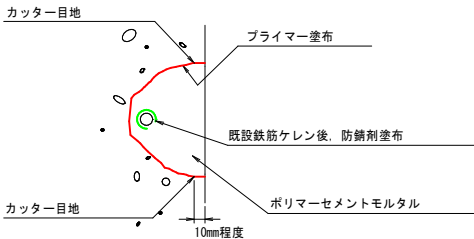
断面修復工(左官工法), 目地止水工

凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滞水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

断面修復工詳細図(左官工法)



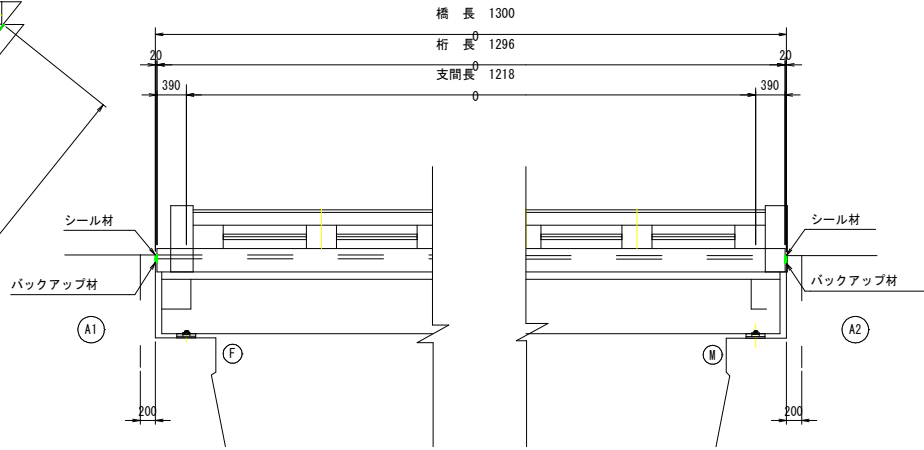
- 【断面修復工】
※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定すること。
※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。
※数量算出条件
・はつり深さ 50mm

断面修復工数量表（左官工法）

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m2	断面修復材 体積 m3
		短辺 m	長辺 m	深さ mm		
上部工（高欄、地覆）						
D-1	鉄筋露出	0.05	0.15	50	0.0080	0.00040
D-2	鉄筋露出	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-3	鉄筋露出	0.05	0.15	50	0.0080	0.00040
D-4	鉄筋露出	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-5	鉄筋露出	0.05	0.15	50	0.0080	0.00040
D-6	鉄筋露出	0.05	0.15	50	0.0080	0.00040
D-7	鉄筋露出	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-8	鉄筋露出	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-9	鉄筋露出	0.05	0.15	50	0.0080	0.00040
D-10	鉄筋露出	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-11	鉄筋露出	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-12	鉄筋露出	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-13	剥離	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-14	剥離	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-15	剥離	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-16	うき	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-17	うき	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-18	うき	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-19	うき	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-20	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-21	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-22	うき	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-23	欠損	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-24	欠損	0.05	0.20	50	0.0100	0.00050
D-25	欠損	0.05	0.80	50	0.0400	0.00200
D-26	欠損	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-27	欠損	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-28	欠損	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
合計					0.2260	0.0113

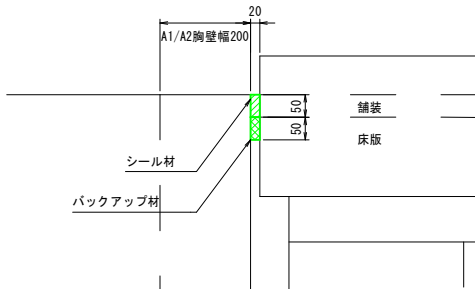
側面図

S=1:50



目地止水工詳細図

S=1:5



目地止水工数量表

細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
シーリング材	変性シリコン	L	12.15	
バックアップ材		L	12.15	

【寄国橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その2)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 7
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

注記)

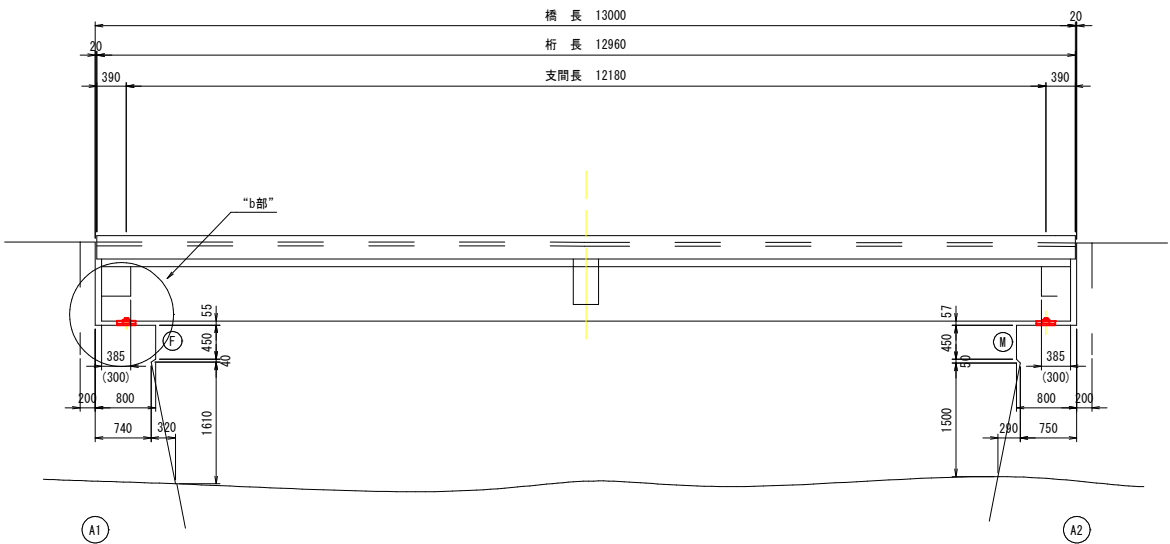
- 1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
- 2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
- 3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

寄国橋 補修図(その3)

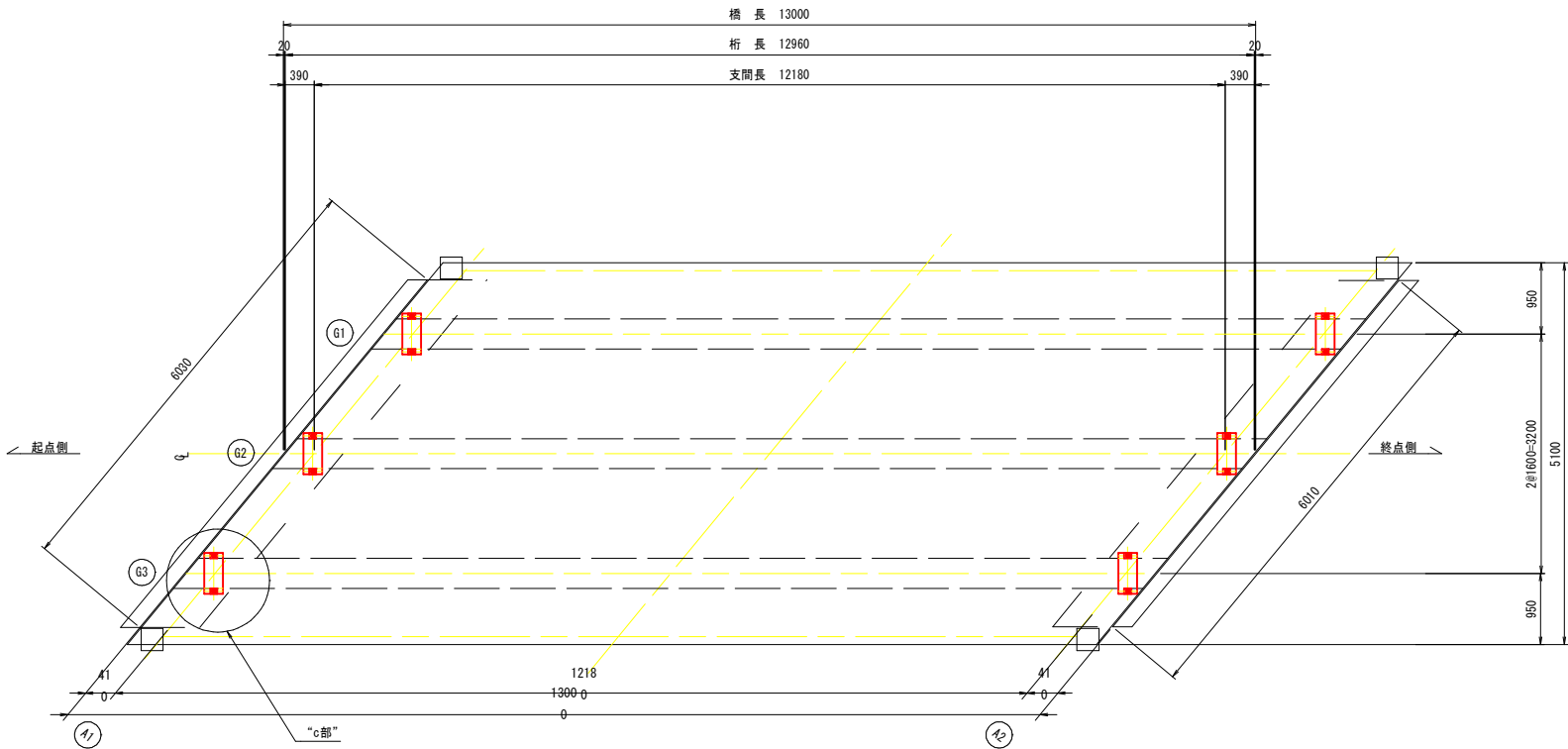
S=1:50

支承防錆工詳細図(1)

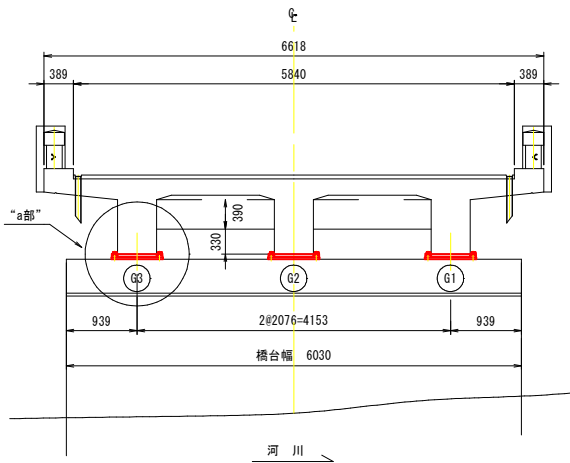
側面図



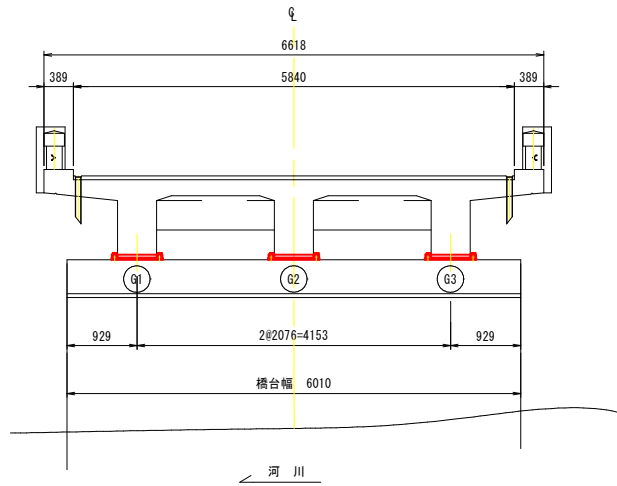
平面図



A1橋台



A2橋台



注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

【寄国橋】

工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その3)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	5 / 7
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

凡例

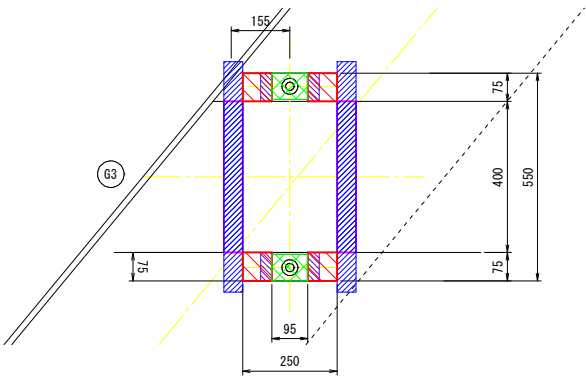
補修工法	
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部①
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部②
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部③
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部④
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部⑤
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部⑥
	:高機能超耐久性防食防水テープ貼付部⑦

寄国橋 補修図(その4)

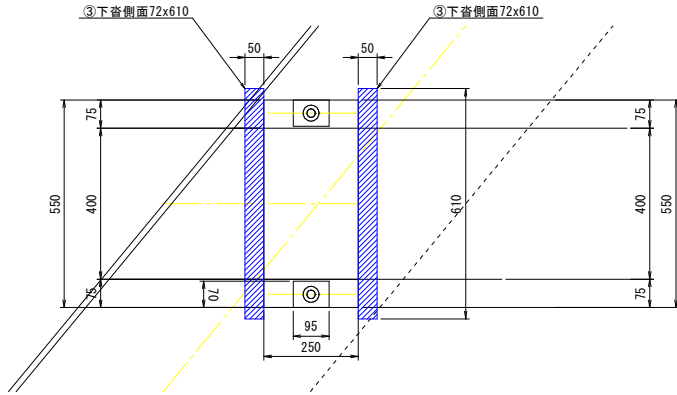
S=1:10

支承防錆工詳細図(2)

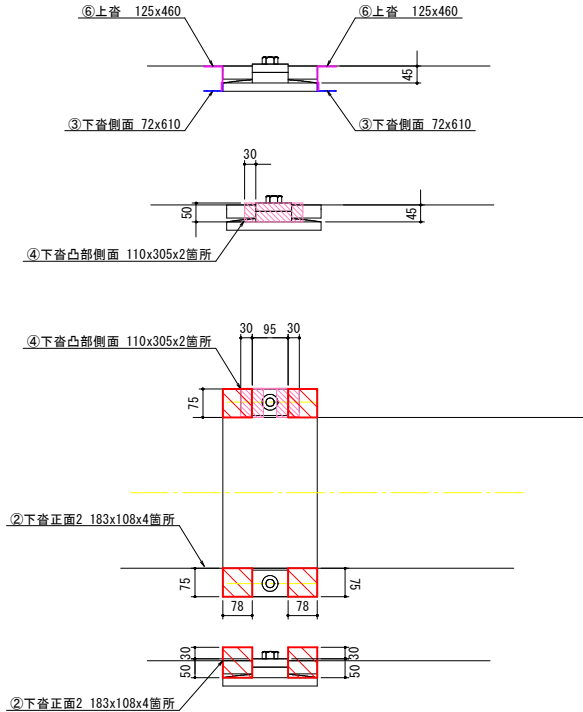
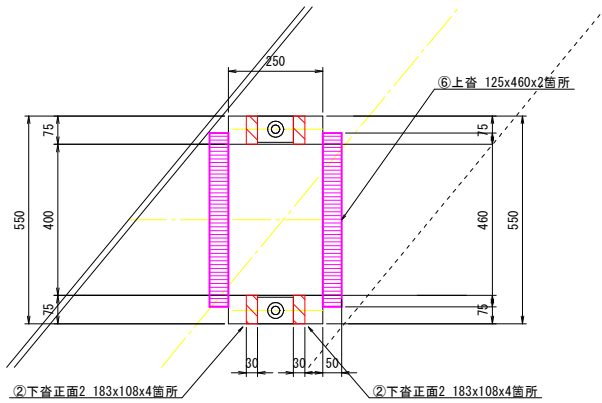
平面完成図



”c”部詳細図



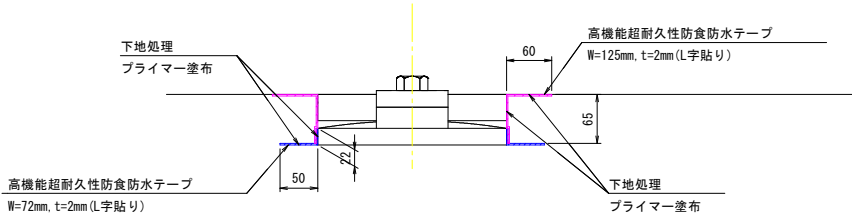
”b”部詳細図



- 注記)
- 1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。
 - 2) 支承については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。
 - 3) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
 - 4) 支承防錆工施工にあたっては、狭隘部であるため手作業可能範囲で施工のこと。

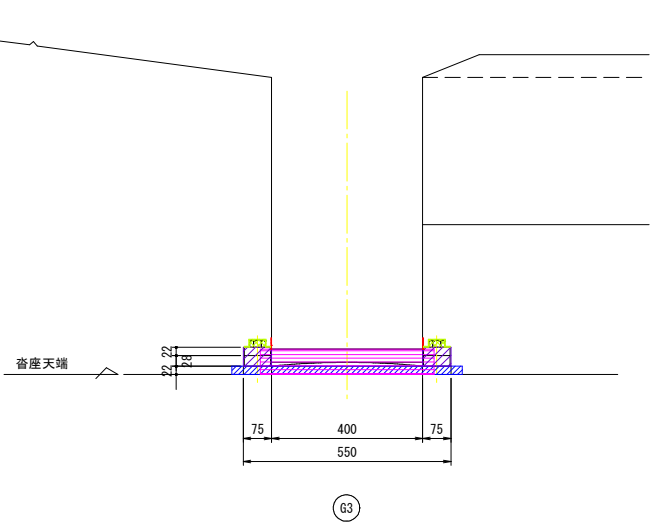
貼り付け詳細図

S=1:5

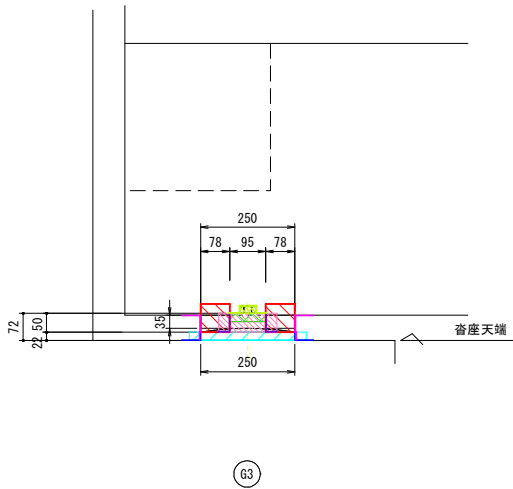


- 手順)
1. 下地処理(3種ケレン相当)を行い、プライマーを塗布する。
 2. 高機能超耐久性防食防水テープを支承に巻きつけ、手やコテを用いて貼り付ける。
- ※ 形状に応じてハサミやカッターで切込みを入れて空気だまりできないように留意すること。
また、テープ同士の重ね代は30mm以上とすること。

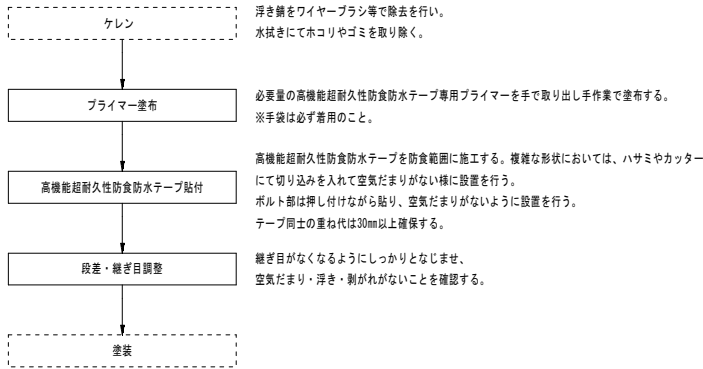
正面完成図



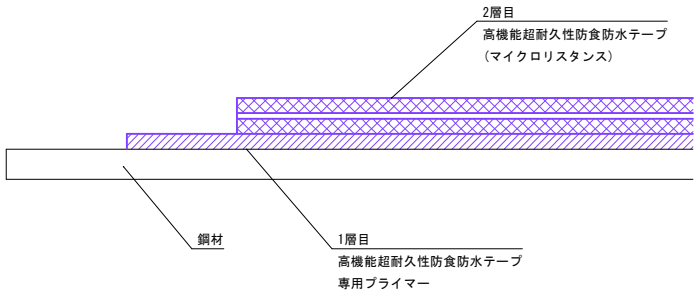
側面完成図



高機能超耐久性防食防水テープ設置エ
フロー図



高機能超耐久性防食防水テープ
システム断面図



高機能超耐久性防食防水テープ設置数量表

	部位名	規格	単位	数量	箇所数	小計
①	下管正面 1	72 × 310 t=2mm	m ²	0.022	12	0.268
②	下管正面 2	183 × 108 t=2mm	m ²	0.020	24	0.474
③	下管側面	72 × 610 t=2mm	m ²	0.044	12	0.527
④	下管凸部(側面)	110 × 305 t=2mm	m ²	0.034	12	0.403
⑤	下管凸部(上面)	97 × 117 t=2mm	m ²	0.011	12	0.136
⑥	上管	125 × 460 t=2mm	m ²	0.058	12	0.690
⑦	ボルト	100 × 100 t=2mm	m ²	0.010	12	0.120
合 計 面 積						2.618

【寄国橋】

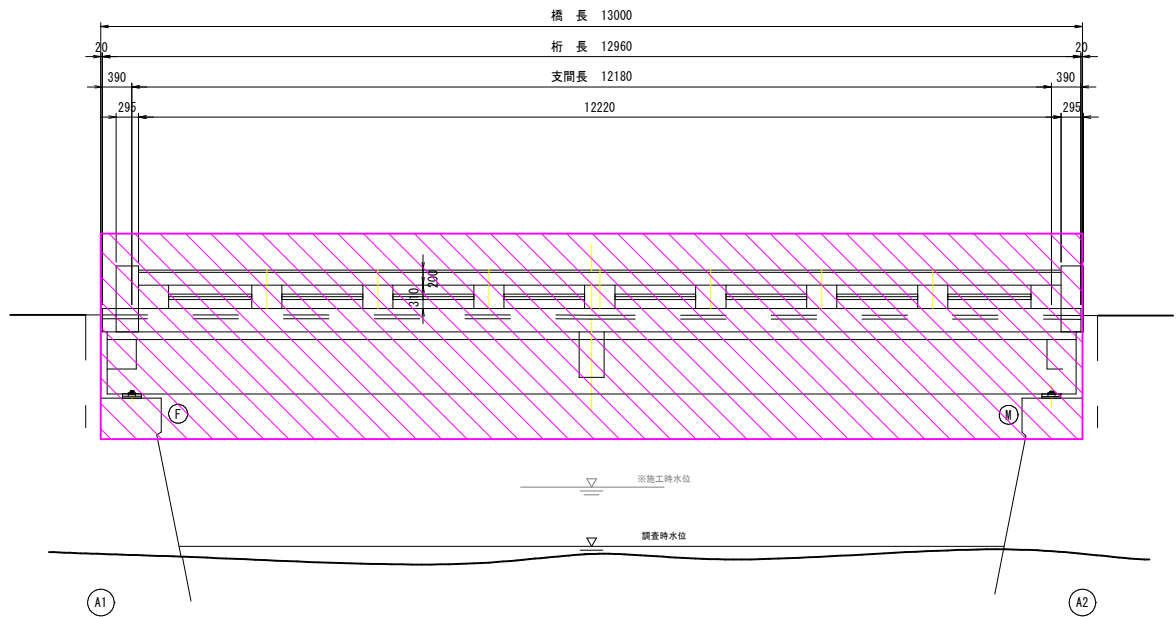
工事名	設計第34号 橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	補修図(その4)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:10	図面番号	6 / 7
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

寄国橋 仮設計画図(参考)

S=1:50

側面図

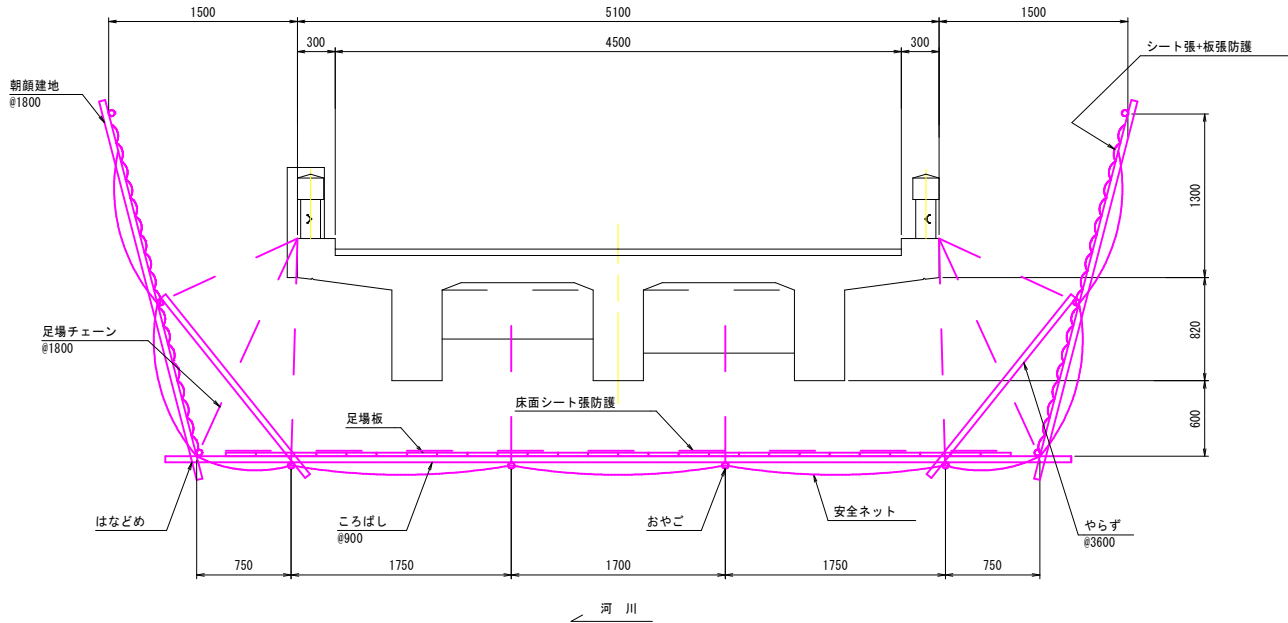
S=1:50



※施工時水位：※出水期間(11月～4月)の観測データを用いて算出した数値である。

断面図

S=1:30



吊足場数量

$13.00 \times 5.10 = 66.30 \text{ m}^2$

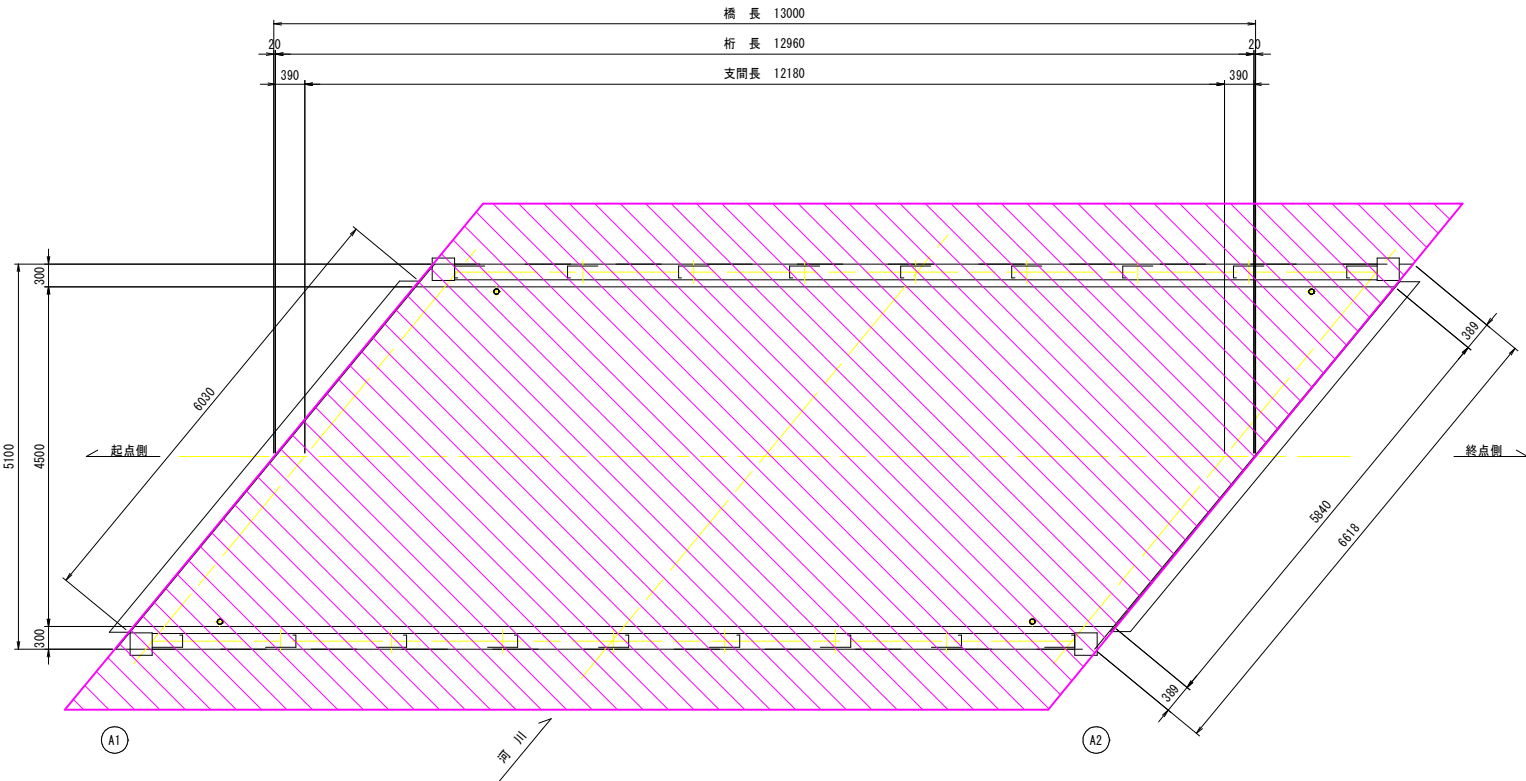
合計 = 66.30 m²

凡 例



平面図

S=1:50



【寄国橋】

工事名	設計第34号橋梁整備設計業務委託(15m未満)		
図面名	仮設計画図(参考)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50, 1:30	図面番号	7 / 7
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

注記)

- 1) 本図は、橋梁定期点検調査、現地調査を基に復元した。
- 2) 仮設足場設置の際は、周辺状況を確認し、十分な安全確認を怠らないこと。
- 3) 施工の際は、周辺の利用者等の交通に支障をきたさないよう留意して施工のこと。